

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和7年度分）

団体名： 大山崎町

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連携推進事業	防災	防災伝道師養成講座およびフォローアップ事業	地域に防災の正しい知識を広め、防災面における地域と町行政を繋ぐ役割を担っていただくため、講座の開催などを通して防災伝道師を養成する。また防災伝道師のフォローアップとして、防災士を位置づけし、支援として防災士の資格取得費用の一部を補助する。	26	6	防災伝道師養成講座は、開催に向けて案内や周知を行っていたが、最終応募が2名となり、講座の開催が困難と判断し、中止することとなった。防災伝道師フォローアップ講座については、日本防災士会京都府支部や熊本地震に被災された方を講師としてお招きし、災害図上訓練や防災講演を実施し、21名の方が参加された。	新たに防災伝道師を養成することはできなかったが、フォローアップ講座では、開催後の参加者アンケートにおいて、「図上訓練で避難の問題点を認識できた。」、「防災講演で地震の恐ろしさを再認識できた。」との声があった。災害時の避難所運営における共助についての啓発において、事業の趣旨に対して一定の効果があったと評価される。
2	地域づくり連携推進事業	環境	町立小中学校給食残渣リサイクル化業務委託事業	町立小中学校において生じる学校給食の残渣を収集しリサイクルすることで、処分時に排出される二酸化炭素を軽減する。	211	105	年間の残渣回収量 小学校計 2,235kg (前年比：-310kg) 中学校計 1,770kg (前年比：-270kg)	学校給食の調理くず、食品残渣等を資源化し、処分時に排出される二酸化炭素を軽減することで、本町が目指す「環境のまち」を推進することができた。 また、児童生徒に食の循環や「もったいない」の意識を伝えることで、食育をはじめとした情操教育にも繋がり、昨年度から比較すると、残渣の量が小学校で310kg、中学校で270kg減少した。
3	地域づくり連携推進事業	子育て支援	公立保育所屋外遊具充実事業	大山崎町立大山崎町保育所の屋外遊具（八角ジム）と安全のために八角ジム用樹上芝マットを設置	592	296	屋外に八角ジムを設置 安全のために八角事務用樹上芝マットを設置する。 人力で移動ができるため、園庭を広く使いたいときは、隅に移動させて使用する。	遊具が古く使用不可の遊具が増え、園庭で遊べる遊具が減っていたが、八角ジムを設置することができ、子どもたちの遊びの幅が広がった。また、子どもの運動機能の向上にも役立っている。
4	地域づくり連携推進事業	子育て支援	町立保育所デジタル化推進事業	保育所登降園管理等用アプリの使用料 各保育所26,000円×12ヶ月×1.1×3か所	1,029	514	保育所登降園管理等用アプリを使用し、登降園時に保護者にQRコードを読み取ってもらう。また、欠席の連絡やお便りの配信を行う。	QRコードで登降園にQRコードの読み取りを行ってもらうことで、出欠の確認をパソコンと目視での二重確認ができるようになった。また欠席の連絡もアプリでもしてもらうようになり、朝の電話対応も減り、保育に専念できるようになった。お便りも印刷と配布の手間が減り、その分他の業務に時間を割くことができるようになった。

5	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	民間保育所運営支援事業	民間保育所に対して、町独自に保育士の配置基準を引き上げている公立保育所と同等の保育環境を整備するために、必要となる経費の一部について支援することにより、公立・民間と問わず安心して子育てができる環境を整備する。	21,544	4,284	フリー保育士 公定価格に含まれない保育士3名への補助 障害児加配保育士 加配の必要な児童の人数に合わせて配置された保育士3名への補助 調理員 0歳児1歳児を多く受け入れているので、離乳食対応が多く、またアレルギー児への除去食対応等が必要であり、公定価格に含まれない調理員1名への補助 職員を配置することで安心して子育てができる環境を整備する。	保育を必要とする児童を多数受け入れし、保育士、調理員等を十分に配置することによって、児童の安心安全を図り、公立・民間問わず安心して子育てができる環境を整備することができた。
6	大阪・関西万博連携推進事業		町立小中学校 大阪・関西万博への校外学習に係るバス借上料等補助事業	町立小中学校の児童生徒が、校外学習として大阪・関西万博を訪問する際の貸切バスの利用に係る経費を対象に、学校に対して補助。	1,667	833	本事業と、京都府子どもの大阪・関西万博体験支援事業（無料招待事業）の活用により、町立小中学校の児童生徒が、交通費や入場料の負担なく、万博での校外学習に参加することができた。 【参加実績】計406人 ・大山崎小学校5年生 96人 ・大山崎小学校6年生 98人 ・第二大山崎小学校5年生 54人 ・第二大山崎小学校6年生 39人 ・大山崎中学校1年生 119人	万博での校外学習により、国際理解やSDGsといったグローバルな課題や、最先端の科学技術に直接触れることができる貴重な体験を積むことができ、事前・事後学習と組み合わせ実施したことで、児童生徒の主体的な学びや学習意欲の向上につながった。